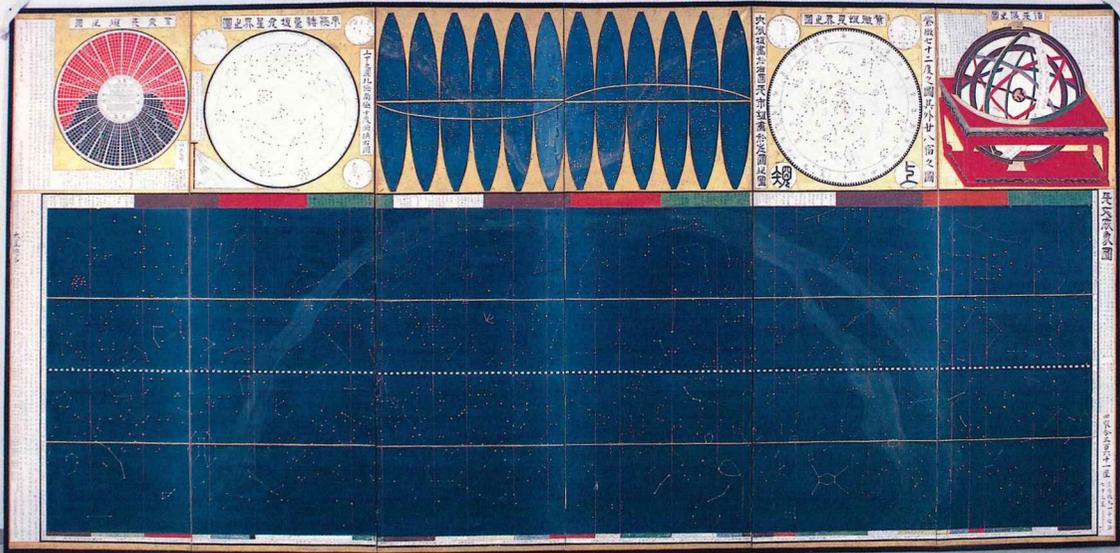


パレットおおさき プラネタリウム館



上：名取春仲の門人・須江充頼が使った**天球儀**(左)と**地球儀**(右)
直径30.5cm(須江充宏氏所蔵・旧有備館にて展示)

下：名取春仲模写**天文図** 六曲屏風・手書着色
縦176cm、横363cm (仙台市博物館所蔵)

プラネタリウム
冬のテーマ番組

いわでやま 天文暦学者
なとりはるなか ものがたり
名取春仲物語

No.18

～**天を窺い、人を知る**～

後援：岩出山町教育委員会

2002 11.30～2003 2.26

大崎生涯学習センター

プラネタリウム・冬のテーマ番組

「**陰陽師**」安倍晴明の流れをくむ土御門家天文道の終着駅が、なぜこの大崎なのか!?
渋川春海、**仙台藩**の天文学者の影響を受け、日本の天文学史で活躍した**名取春仲**の素顔とは!?
 長い眠りから覚めた天文学史の新事実が、大崎から発信される・・・

江戸時代、岩出山本郷荒町の造り酒屋・名取屋に生まれた名取権右衛門敬純(春仲)。
 橋元治正や桜田治正、藤広則といった学者たちから天文道や暦学、和算などを学び、藤の推薦で土御門家の門人となります。春仲の「春」は、土御門家の天文道を支え、江戸時代貞享の改暦を成し遂げ、日本の天文暦学の先駆者となった天文学者・渋川春海の「春」です。

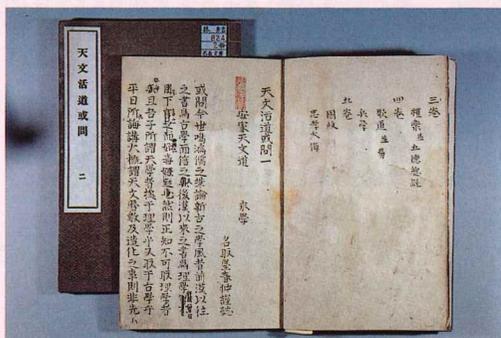
一迫町の道ばたに建つ顕彰碑(写真)には、「日本☆安倍家天文道輔佐役天文生 名取春仲」と刻まれています。春仲の私塾には、仙台藩や岩出山伊達家の武士をはじめ、石巻・山形からもたくさんの門人が集まり、天文道を学びました。

近年、門人の子孫である須江家・大江家から、大量の天文道に関する古文書が発見されました。それによって、春仲とその門人たちの姿が明らかになってきました。二年前里帰りした春仲模写の「坤輿万国全図」・「天文図」、春仲の門人・須江充頼が使用した有備館展示「天球儀」・「地球儀」に秘められた、天文暦学史上の新事実とは!?
 そして、春仲や、古くは晴明らがみつめた星空とは・・・。

「**星座解説**：今晚の星空」も含まれます。お楽しみに!



名取春仲顕彰碑(一迫町大栗)



天文活道或問一・二(てんもんかつどうわくもん1・2)
 春仲の学問理念がうかがえる代表的著作。紙面には推敲の跡が多くみられる。(東北大学付属図書館名取文庫)



気朔草(きさくそう)
 春仲が暦を作成する方法を学び、節気や新月を計算した記録の数々。(東北大学付属図書館名取文庫)

名取春仲についてもっと詳しく調べよう!!

●宮城県岩出山町 町史資料集第三集 『天文暦学者 名取春仲と門人たち』

名取春仲と門人たちが残した坤輿万国全図模写図、天文図、天球儀、地球儀、膨大な量の天文伝書を収録しました。これらを使って学んだ人々の実態に迫ります。また館内に案内ポスターを掲示しています。
 問い合わせ：岩出山町史編纂室(電話:0229-72-5460)

●ホームページ「仙台藩天文学史」 <http://m-donchan.hp.infoseek.co.jp/>

この番組のシナリオを担当した仙台藩の天文学史を広める会・黒須潔さんのホームページ。仙台藩の天文学の歴史や天文学者の紹介、江戸時代の観測機器などの詳しい紹介をはじめ、名取春仲についてもわかりやすくまとめられています。

●パレットおおさきホームページ <http://www.palette.furukawa.miyagi.jp/space/harunaka.html>

「岩出山の天文暦学者 ～名取春仲物語～」の紹介ページには、この番組の紹介をはじめ、名取春仲やその他の登場人物紹介、名取春仲略年表、春仲らがみた中国の星座の世界などについての解説があります。またシナリオ(一部)も読むことができます。